



カウンセリングコーナー

セルフ用施術室

セルフ用施術室



レディスト・ホーム取扱説明



ひじ下セルフ脱毛

新脱毛理論が セルフ経営を可能にした！

新しい美容市場を拓くクールプロジェクトの挑戦



エントランス外観

石川県に本社を置く株式会社クールプロジェクトは、昨年10月「メンズクール・エステティック金沢店」をオープンさせました。同店の特徴は、全身を自由に脱毛できる個室でのセルフ脱毛。その魅力をうかがうために同社の茂藤圭祐副部長を訪ねました。

メンズ市場の高まり

本誌 市場でのメンズ需要が高まっていたこともありますか？

茂藤 エステ全体の市場規模に対し、メンズエステの市場規模はまだ小さいといわれています。しかし近年の男性の美容への関心の高まりとともにメンズエステ店も急激に増えて、石川県でも1年前までは10店舗程度であったのが、この1年で店舗数は倍増しています。

すべては革新のLED脱毛機から始まった

茂藤圭祐氏は、株式会社クールプロジェクト茂藤雅彦社長の長男。一昨年4月にクールプロジェクトに入社。クール海外事業部中国駐在員時代は海外代理店の営業フォローのかたわら蘇州大学にも1年間留学し、昨年からエステティック事業部副部長に就任。

本誌 新規開業のきっかけを教えてください。

茂藤 弊社ビューティプロダクツ事業部が昨春にLEDistレディストという業務用LED脱毛機を発売して、弊社グループのクールエステティック各店に配置、稼働しました。社長がLEDist（レディスト）の性能のなみなみならぬ特性に鑑みて、セルフ脱毛の需要に応えられると、満を持してメンズエステを出店することになったのです。既存のクールエステティック金沢店に隣接して1階にエントランスロビー、カウンセリングコーナー、地階（約20坪）に3個室＋パウダールームを設け、脱毛機はセルフ脱毛向けにレディストを出力改良したLEDist HOME（レディスト・ホーム）を導入して、昨年の10月にオープンしました。

特別取材

日本初の男性専用LED脱毛サロン 「メンズクール・エステティック」金沢店



茂藤副部長と小泉店長

セルフだから恥ずかしいくない

本誌 それは魅力的なフロントエンドですね。あえてフルサービスではなく、セルフを提供した意図は？

茂藤 ひとつは弊社の18年におよぶ経験値からわかってきたことなんです。脱毛施術というのは顧客にしてみれば男女を問わず恥ずかしいものらしいのです。とくにVIOなどの施術はできれば他人に委ねたくないデリケートな部位です。新しくメンズサロンをオープンするにあたり、男性陣に市場調査をしたところ、施術者が男性であれば、女性であれば、他人に脱毛してもらうより、自分でした方がいい、という意見が8割に上りました。**本誌** たしかに他人に裸をみられ、触られるのは、恥ずかしいですね。

皮下蓄熱式LED脱毛システムの台頭

茂藤 弊社のLEDist（レディスト）は旧来のIPLではなく、新しく開発した

LEDを発光源とした先進の「LED・DLP方式」を搭載しています。肌に安全で効果の高い2波長域を同時照射できる新しい機能を採用した皮下蓄熱式LED脱毛システムです。このきわめて安全な機器特性から、セルフでも十分な安全管理ができるという結論を得たのです。

本誌 なるほど。ハードあつてのシステムということですね。

茂藤 はい。この新しいLED脱毛システムは東京理科大学系の開発チームが発明した非常に画期的なものなんです。もちろん、日本国内の工場で作っています。**本誌** お客様は実際に、ご自分で全身を脱毛していくわけですね。

茂藤 各部屋では5分ほどの使い方動画をエンドレスで流しています。カウンセリング時にいねいにご説明もしますが個室内でも希望部位を選んで部位ごとの動画を見ていただけるんです。背中など手が届かない部位は店長がお手伝いさせていただきます。

本誌 セルフで30分、どれくらいできるものですか？

小泉 体格や毛量によりですが、ひげ、ひじ下、ひざ下までなら30分でできますね。個人差があっても延長料金もリーズナブルなので気軽にご利用いただけるんです。

経営を裏切らない新理論の登場

茂藤 従来のIPLのような毛周期理論（休止期を計算にいれた来店設計）に基づく来店頻度では脱毛終了まで数年かかります。それに比べLEDist（レディスト）の場合は、毛周期は関係ないので、IPL機器より遥かに早く脱毛完了することができます。これは経営

的には重要な意味を持ちます。

本誌 なるほど。やはり、そこは重要な点ですね。素晴らしい。最後に茂藤社長に今後の抱負をお聞かせします。

茂藤社長 LEDist（レディスト）で繁盛脱毛店の必須機器をご提供できたことは本当に良かったと思っています。今後は並行して、画期的なホームケア用脱毛器LEDitch（レディッチ）の販促にも力を入れます。脱毛メニューのあるサロンではLEDitch（レディッチ）は販売しにくいですが、痩身サロンやフェイシャルサロンにおいても脱毛で悩んでいる顧客は多くいらっしゃいます。そのようなサロンでの店頭商品としてLEDitch（レディッチ）は強力な武器になるでしょう。



本誌 脱毛エステの勝ち組グループプロジェクトならではの戦略的商品構想を聞かせていただきました。ありがとうございます。



エステティック事業部 副部長 茂藤圭祐氏
右は、株式会社クールプロジェクト代表取締役社長 茂藤雅彦氏